



闇の裏側



pinokopapa

何かあわただしいことが起こっている？テレビを点けた。お天気お姉さんが刺し棒を持ってしゃべっていた。私はその画面に目と移しながら自分の身におきたことを考えていた。

私は・・・スパイ？・・・スパイなんて死語だよなあ 諜報活動
攪乱工作

様々に言葉が浮かぶ。そして連想ゲームのように 核 のことを考えていた。北朝鮮も中国もソ連も、彼らは日本を攻めては来ない。彼らの論理、核保有国はアメリカも手出ししないと云う事が、彼らの側からも本当ならば、ミサイルなど狂気でしか打ち込んで来ない。日本は核保有国だからだ、勿論米軍の管理下だが。

核一60年安保の改定まで、米艦船が日本に入港する際、核を搭載していても、事前協議の対象ではなかったし、それ以後も改定されなかったことは、政府が何も語らなかったことで隠されていた。

沖縄返還の際も、核の存在が問題視され、国会でも紛糾したが、沖縄には今も核はある。地政学上これらの国の喉元に突きつけた核をアメリカは絶対に動かさない。佐藤栄作氏の 沖縄核密約 がそれを示している。しかし、こんなこと軍事上では常識だ。ところが一般マスコミは、この佐藤密約が発覚してもその事を小さな記事で扱っただけで、あとは何も言わない。また沖縄返還の後、盛んに国会で追及した野党も、今は当時の事を忘れたように何も言わない。こうして隠され、何時の間にかなかったことにされた。非核三原則なんてものも綺麗事、武器輸出三原則も看板だけ。イラクで米兵はパナソニックのタフブックを使っているし、一時スペースシャトル、宇宙ステーションでも東芝のノートパソコンが採用されていた。第一、パトリオット ー 対ミサイル迎撃システムの3次元での目標物追尾技術も東芝が開発したものと言う事は、公表されないが事実だ。今はパック3になり、この部門の開発は日本の分担になっている。ステルス機も、軍事用ではないがスペースシャトルの耐熱ブロックも日本製部品が多用されているし、ミサイルやロケットの噴射口のカーボン部品は世界シェアの大半を握る日本の企業のものだ。日本は平和が続き、何時までも平和だと思い込んでしまった。当たり前な平和が人々の頭に巣くってしまい、国家像さえ消してしまった。

たぶん宇宙人首相はそんな認識がなくて、逆鱗に触れてしまったのだろう。日本、特に沖縄は米国の最前線基地だから。**教授からの指示で、私は宇宙人首相の安保意識を追跡していた。

どうしたんですか 社長 このところ政治関連のリサーチ

ばっかりですね もっとも、こっちもカキコ職人は飽きました
けどね 選挙ネタでもあるんですか だけど この首相
大丈夫かなあ なんも考えてないような気がしますけどねえ

機械式巡回検索リサーチの画面に、キーワードを入力しながらそう聞かれた。私は答えず、どのタイミングで仕掛けるかを考えていた。*チャンネルの掲示板にスレッドを立てる、**X1に

入り込む、つぶやいてみる、いや文字や言葉では弱い。*チャンネルの経営者がはじめた**動画の画面に流れる、あれだ。**教授の分析と指示がそうだった。ネットはもうオタクだけのものではない、しかし日常とは違い、自分から求めなければなにも情報は得られず、発信もできない。また発信するとそれを見てもらいたいと熱望し、過大に期待する。それだけに一般的な無関心層とは異なり、その 情緒態 に共振できるようなレッテルを貼ると共振の渦が出来てくる。まして、匿名であれば 炎上 は早く、そうなる一般社会の連動の動きはタイムラグなく起こる。その動きを起こすためにも、貼り付ける罵詈雑言は一言で言い切るほうがいい。

うそつき

私はこれを書き込ませた。何が嘘つきとか、どこが違っているなんて説明は一切なしで、宇宙人首相が、沖縄の基地は県外、国外と喋っている画面にそれを悲鳴のように大量に流した。支持率は今が最高で、夫婦してマスコミにも褒め殺しのように書き立てられていた。それだからこそ今がそのタイミングだと判断した。誰も言わないとき、いわれない誹謗中傷を投げつける、それが一番効果的だった。ネットの掲示板で 炎上 が始まった。それは思った以上で、匿名のサイトが非難の書き込みで一杯になった。私はもう何もしなくてよかった。

新聞社の世論調査の結果を見せて

そういうと毎週の調査結果が、右のディスプレイに出た。支持率は回復しようのない地点に直ぐなった。仕掛けたのは私だけではなかったのだろうと思った。政権交代が決まった途端、内閣官房機密費が金庫からごっそりと野党に転落した**党の元官房長官の手で持ちだされていったし、**省の外交機密費は官僚の意のままに使える。このような金がこの時期 B級評論家 に沢山流れたことは察知できた。新政権との蜜月の時期、彼らは爪を研いでいた。私は彼らに遅れを取るわけには行かなかった。そして、初代新政権の首相は沖縄について、たぶん官僚のブリーフィングを受けていなかったか、彼がそれを無視したかだと思った。そして一番ありそうなことは官僚はそれを巧みな言い方でぼやかし ネグレクト したのだろうということだ。そこに 国家の意志 が働いた。同時に 彼ら の意志も働いた。沖縄に手をつけてはいけない。沖縄から米軍は動か

ない。そして隠された核も動かない。何故なら、ICBMなんかを打ち合う戦略がこけおどしの張子の虎になった今、沖縄からステルス爆撃機での核攻撃は、相手国にとって一番の脅威になっているからだ。だからこそ竹の国も、ハッキング、作業員による情報奪取となりふり構わぬ手立てで機密を取り込み、独自のステルス機の開発を急いでいる。

しかしこの時の国家の意志はどこから出たものだろうか。外務省のチャイナ・スクールかアメリカ・スクールの片一方、またはその両方の利害が一致したのではないだろうか。アメリカの意志は当然の事だが、中国の方は複雑で、この国には、親日と言え意味が違うが、日本の存在が都合のいい側と反日を掲げる側が対立して権力闘争を繰り広げており、結局どちらも日本が必要であることに変わりはないという事情があるからだ。それゆえ、沖縄の基地はどちらの側にも、そこに在ってもらわなければならない。そして日本の外務省も、選挙で選ばれた総理大臣を無視した。どうせ一時その場だけの政権と見限り、彼ら官僚は公僕たることを忘れ、国家機構の方針を変えてはならない、国を誤らせてはならない、これが国益という正義だとして行動した。お坊ちゃん首相は独り語り続け、何も実現しなかった。官僚は首相の指示をリークし続け、報道はそれを連日喧伝した。代替地とされた地元は、政権交代の原動力となった教員組合がまず子供達を守れと動き、公務員組合もそれに続いた。保守支持の自治会長たちが地元民を結集した。これでは地元選出の元国会議員を説得しても無理な話だ。そして政権交代後の初代首相は自滅した。私は最初にうそつきと罵っただけだ。しかしこんな仕掛けで倒れるはずがないと、次の手をかんがえていたのだが、なぜ沖縄の人たちは首相頑張れと応援しなかったのか。彼は沖縄のために基地は少なくとも県外、できれば国外と言いつけていた。それは沖縄の人たちの悲願ではなかったのか。お坊ちゃん首相を弾劾する決起集会で演説する人たちは、彼がこの人たちの願いを実現しようと頑張っていたのに、沖縄の願いを聞けと叫んだ。**帰れと叫んだのだ。私は不思議で仕方なかった。沖縄の人たちは、本当は基地がなくなっては困るのだろう。沖縄の基地返還運動の中心は公職員組合だと言う事に、なにか鍵があるように思えた。

なにをやったんだね

**教授が聞いてきた。

いや、何もやってないですよ 一言 うそつき とネットに

書き込んだだけです 後の仕掛けは新政権を取り巻く環

境が全部やったことです

そうだなあ 彼は自滅させられた ある意味 政治的暗殺だ

った

彼の資質も災いしたと思いますよ　それに新政権は野党のときのように攻撃するのは強いが、結局統治することに慣れていないのだと思います

そのときの会話はこれで終わり、沖縄は残った。

しかし　彼ら　の意志はなんだったのだろうか。　彼ら　とは誰？

彼ら　が姿を現したのは、たぶんあの時一回だけだろう

**教授は、推測だがと断わって、そういった。

戦後日本に新憲法を作成し、押し付けたときだよ　彼らはアメリカの政治エリートとして　彼ら　に育てられ、　彼ら　の意志を受けて国の根本法を作り、改正のしようのない仕掛けまで組み込んで押し付けたんだ　これで日本の国家像も決まり、米国への隷属も決まった

**教授は・・・

右翼かって？

はい

私は右翼ではない　裏側から見た日本の戦後史を語っているだけだ　そうじゃなかったら沖縄返還はなかった　佐藤核密約もなかったと知っているだけだ　・・・　彼らは驚いていたはずだ

なにがですか？

戦後日本がここまで復興、発展したことだ　私は資本主義をアングロサクソンモデルとロンドンモデル、ワシントンとニューヨークモデル、それからトウキョウモデルとして考察研究して見た　その中でアングロサクソンモデルは因習係数が高くて、動態の態をなしてないとわかった　文化指数は高い

けどね ロンドンモデルも資本主義発祥の地であるにもかかわらず、文化因習係数が高く、帝国主義的発展は最大のものであったが、文化因習に邪魔されて、人口の少なさで純粋資本主義になりえなかった アメリカの二つは置いておこう 日本だよ トウキョウモデルは動態資本主義の原理モデルに一番近い発展様式を示してきた 日本の平均的教育水準のたかさ、国民気質としての東洋的隷屬意識、コミュニティへの帰属願望、人口規模、資源もエネルギーもないことと 上げると切りがないぐらい、資本主義的商品生産に適しているところはない ほぼ均一な国民意識、均一な教育水準と消費性向、そういったものがある時期自分は中間層であるという思い込みを持たせたし、中間層への意欲も持たせた 原理モデルはほぼこの形に規定できていると思っ
教授の講義口調はよく理解出来なかった。

・・・、そうか、君は理系だったね 君は経済学を金儲けの学問と思っているだろう 経済学は 経世済民の学問と言う事で経済学と訳されたんだ 世を治め民を救うと言う事で、金儲けの手段の研究じゃない しかし社会科学は何でもそうだが、実験ができない だから社会現象を後追いで解釈してみせる学問になってしまっている しかしそれを将来を見通そうとシミュレーションするのが 動態統計学 の方法論なんだ そしてそのためには原理モデルがなければならぬ しかしその前に資本主義とは何かを規定しなければならぬ

一つは 貨幣を投じて、より多くの貨幣を回収する 詰まり資本を投資してより多くの利潤を得る とする もの
また 人々の生活に資するものを商品として生産し、その商品を自由に交換できる市場を獲得すること そしたその商品の中に労働力も含まれること

それからこの考え方を発展させて 本来商品とはなりえない労働力 を労働力市場で資本が商品として得ることの矛盾を追及した考え方をするもの がある

一番目は 原始資本主義の在り方そのまま 強欲資本主

義

二番目はマックス ウェーバー氏の資本主義への見方

三番目はマルクス氏

そして私は商品が資本主義の本質と考えた お金もすべての商品と交換できる一商品であるから これも商品として市場で変動する そのようにすれば 動態統計学が成立し シミュレーションも可能になる そしてすべての社会は原理モデルに向かって進行して行く

国の大本も伝統も信仰も、資本の原理の前では、時代的な不純物でしかないのだから 消え去って行くし 無くなり振り返られることも無い 日本は元々無宗教の国だから というと大反論されるが 宗教的対立で殺し合うことの無いという意味での寛容に満ちた無宗教の国だから これだけでも不純物のないモデルだといえる

さらに教育のあり方からか 戦後の 進歩的文化人 の成果からか この国は愛国心も忘れかけている 一番センシブルな ナショナリズム の希薄さ も資本の要請に適合している

資本主義の見方は 金儲けを重視している国は 強欲資本主義 勤勉な国民の国は工業力の進展と勤勉な労働者が生活の向上に寄与する商品の大量生産が資本的商品生産を生んだという

その資本主義的生産が全てを商品としてしまったことで商品たるべきではないものまで 貨幣が商品にしてしまい 社会は大きな矛盾を抱えたとする経済学も生まれた

しかし今 国家の枠組みが壊れ 矛盾は更に多様になった その矛盾が社会を不安定にしている ここに 疑念 と 感情的不安 の要素を加えてやると 世論は 感情的に暴走を始め レミングの死の行進 を始めてしまう 先に崖が待っていても 彼らは押されて崖を飛ぶ

君が ハーメルンの笛吹き かね

この言葉を聞くまで、**教授の言葉は何かの呪詛のようだった。

先生は マルクスト ですか？ まるで虚無主義者だ そう か、**真理教の信者のようだ

**教授は浅く笑った。

テレビの画面が 南の小島 を映していた。

私と私のスタッフはあらゆる手段を尽くして、ネットを探った。あらゆる手段とはハッキングも含めてであった。

**船の船長、および乗組員を逮捕拘留いたしました。

とテレビは興奮気味に伝えていた。

事を構えさせてはならない。どんな手を使ってでも事件をもみ消せ。

これが官僚の方針だとわかった。閣僚の中にも、これに呼応する者がいた。前政権ならもっと巧みに事を隠蔽しただろう。現に北朝鮮指導者の長男を彼らは、まるでなかったことのように振舞って即時追い返した。そして今回これに呼応した現政権の中の閣僚がいた。彼も一応老練な手腕の持ち主だったが、経験がなさ過ぎた。彼は官僚のどのチャンネルを開けばいいのか、解らなかった。

事をおおやけにしてほしい それも、最も効果的な衝撃を

与える形で

私達はその時すでに、海上保安庁内部のネットワークに公開されていた一部始終のビデオを入手していた。しかし待った。そしてテレビ右翼のB級評論家達に情報を流した。彼らは始めからそんなことは知っていたと言わんばかりに、追跡と逮捕までのビデオが存在するはずだ、その全てを公開しろと騒ぎ始めた。すると、財界からテレビ局に圧力がかかった。**国と、もめてはいけない、国益をなんと心得ているんだと。そんな亡者どものうごめきのなか、私は 彼ら から、この内容の 指示 を受けた。彼らは私達が既に動画を手に入れていることを知っていたようだ。ここで私は疑念を抱いた。私が動画を手に入れたことを知っているなら、なぜ 彼ら 自身でそれを公開しないのか。そうした方が、より効率よく 彼ら の意図を実現出来るはずだ。そしてまた 彼らは矢張り現在の米政府とは関係ないようだとも思った。米国の現政権は日本の南の小島の領有権など、どっちでもいいことで、中国との関係の方が大事といった風に振舞っていたからだ。

今回、私はネットだけではなく、直接行動した。**管区の海上保安庁の一人を私はマークさせていた。家庭環境、思想信条、交友関係、そのどこにも**国の陰はなかった。そして正義感も強く、今回の事に憤っていた。しかし彼は迷っていた。私達はそ

のアクセス履歴から、彼が保安庁のメインコンピューターのビデオをダウンロードし、それをDVDに焼いて持ち出していることを知っていた。不安、疑念、使命感、キーワードは彼の行動を予測させた。そして彼が迷った末、ネットカフェに入ったと報告を受け、私は彼のやろうとしていることが解った。

隣の部屋に這入って、画面を覗いて

社長、ホントにスパイみたいですねえ

いや、もっと面白いかも知れないよ

なんか、動画投稿サイトに動画を投稿しようとしてますが、

こりゃいけない 素人ですねえ 失敗してます

投稿者名だけ見てきて

キータッチをみてましたから解ってます 皮肉なネーミング

してますよ

私は笑った。そして彼の投稿が失敗していることを確かめ、彼がネットカフェを出る頃には、こちらのアップロードが終わっていた。

この動画流出に、的はずれなコメントをしたのが、あの都知事だった。

都知事は8日、「(データが) 出た場所を良く考えてみなさい。あれは日本じゃないよ」などと海外からの意図的な流出もあり得るとの持論を展開した。同日、都庁で記者団の質問に応えた。

知事は、出所の固有名詞は明かさないとした上で、「アメちゃんはアメちゃん世界戦略を考えている。

ああいうものをああいう形で出せば中国がどういうことになるかちゃんと分かっている」などと米国からの流出も示唆。

その上で、「本当に国はバカなことをやっている」と政府の対応を批判した。

こんな思い付きを、彼は新聞記者にしゃべっていた。そしてその失敗に直ぐ気づき、内部告発だよ、結構なことだ を連発することになった。そして彼の言うとおりに、この国の現政権はバカな処理の仕方をしてしまった。老練な政治家の現閣僚もたくらみを巡らすのは、先の政権党ほどではなかった。

しかし先の政権党のときも、尖閣には**国の漁船は頻繁にやってきており、海上保安庁も追いかけるが、捕まえたりはしてこなかった。そして、そのことを国民に知らせるようなこともして来ず、それで済ませてきたのだった。だが、今回は違った。強硬な閣僚が、逮捕せよ と命じた。今まで歯噛みする思いだった海保がそれに答えた。そのことにあわてた外務省の官僚がもみ消しにかかって無様な失態を晒し、事を覆い隠そうとした閣僚の方も手痛い目にあったというのが真相だった。

そして、彼ら はこんな事態を暴き立てるのに私を使った。ビデオ流出というきっかけを、私に作らせ、何かを実現しようとした。それを私のほうから聞くわけにもいかなかった。

社長、なんかあったんですか。やばいんじゃないですか。殆ど天才的なハッキングプログラムを作ったプログラマーが聞いてきた。彼には、それこそ金に糸目とつけず、ワンフロアーを埋め尽くすほどの巨大なシステムをあたえていた。

気にしなくて良い。
文字列と画像が流れるようにスクロールしていた。

領土問題、侵略、対立、・・・
表面的には**国への国民的反感が跳ね上がり、対**国との関係も一度に冷え込んだ。これが狙いなら、元々わが国は**国の反日感情を嫌っていたから、こんな風にしなくてもよかった。また、現政権を攻撃していた前政権党も、前政権の対応を踏襲しただけだと答弁されて沈黙してしまった。もっとも、すがめの国防オタク議員は、なお巧妙な言い回しで追及して止まなかったが。

じゃ、こんな事件から日本の国防意識を変えようとしたかったのか。そうしてその先に 集団的自衛権 まで踏み込ませる。いや、世界中でも日本人ほど領土問題に寛容な国民はいない。むしろ関心が薄いと言っていい。それに、国民は現憲法に慣れきっているから、改憲を必要とする 集団的自衛権 は難しい。PKOに出動しても、いや派兵しても、わが国は戦後、海外で一発も銃を発射したことがないと、そのことを誇りに思ったり、ほっとした気分になっているのだから。

あの国は自国の利益を守るためなら、幼稚にして稚拙な手段もなりふり構わず主張してきた。ところが 彼ら は違っている。私には 彼ら が理想主義者に見えた。だから 彼ら はじっと待って、日本人がどう振舞うかを見守っている。そして内部告発者がビデオの流出を図ったとき、それを私達に手伝うように仕向けた。そして、内部告発が行われたこと、内部告発する者が現れたこと、さらにそれを私達が陰から手助けした事全てを 彼ら は観察しているように思えた。なにを見ようと言うのか。私達は自分の技術を職人のように振ってみただけだ。しかし、内部告発者は・・・、悩んだことだろう。彼の属している組織は、ビデオの流出を押さえ込んでいる。その命令に従うのが彼の正義だ。しかし、彼にはもっと大きな正義があったのだろう。彼は組織の正義ではなく、自分の信じる正義と使命感に従った。それは単に弱腰の政府を告発するとかではなくて、国を守るという彼本来の正義だったと思う。

もし 彼ら が戦後現行憲法を日本に押し付けた政治エリートの系譜にあるのなら、たぶん 彼ら はその現行憲法がいかに日本という国をいびつに歪めたかを目の当たりにして、深く悔いているのかもしれない。あの美しい憲法9条は国の交戦権を放棄させることで平和国家を謳いあげた。更に軍備を持たないとして、その形をより確かなものとした。そのうえ戦前の軍国主義国家と神聖天皇制に強い反発感を抱いた国民は、一方に保守党、一方に革新党として55年体制を支持してきた。その時流に乗って進歩的文化人達も 国家 を罵ることが 新しいこと、進歩的なこと、と主張しつづけた。こうして日本人は 国家 を忘れた。それは憲法と民法が子供達に平等の相続権と親の扶養義務を課することで 家 を破壊したことと同一なことだった。日本人は戦前の国家像を失った後、新しい 国家観をうちたてようとはしなかった。日本人には、いや我々にはそれが正義だった。たった103条の条文がそれまでの日本を破壊してしまった。

しかし、ここに国を守ろうとして内部告発をした ころざしの人 がいた。彼には 守るべき国 があった。

彼ら はそれを見ていた。

じゃ、私をも監視しているのは何故か。私が 彼ら の理想主義を独善的と**教授に洩らしてしまったからか。

幼稚な正義感ですよ。そうでなきゃあ、戦争なんか、しでかせないですよ。また、日本人も日本人だ。あれほど殺され、拳銃の果てに、広島、長崎に 原爆 まで落とされた国と軍事同盟を結び、憧れたりもしてきたなんて、ありえないことだと思いませんか。こんな忘れっぽい国って、ないですよ。

それで、ポルシェかね。

そうです。かねての同盟国を忘れてません、私は、って、冗談ですよ。ただ、ギブミー チョコレート っては言いたくないだけです。・・・、しかし、 彼ら は私に愛国心がないとってました。だけど、内部告発をした**にはあった。考えてみると、自衛隊員は、24万人もいるんですよ。彼ら自衛隊員の守っている日本ってなんなんだろう。愛国心のない私にはよく解らないです。

日本は新しい国家像を描く前に、 東洋の奇跡 を起こしてしまった。エコノミック アニマル とまで言われ、時の総理大臣がフランスでランジスタ ラジオ のセールスマン と言われたこともある。その頃はまさに、一国資本主義が支配していて、経済は国家の中で完結していた。だから経済戦争も国家単位で争われた。国家という共同体幻想が一番強固なときだった。ところが今は資本は資本の論理のままに、国家の枠組みなんか、なかったもののよう踏み越えて行ってる。資本主義的商品生産に必要と

あらば、海外の安い労働市場を求めて進出することが当たり前の事になった。また、海外にあったほうが輸出に有利と判断すると、これも海外に移転する理由になる。もう一国家の中で、資本主義的商品生産は完結し得ないから、国家という概念自身薄まって当然だろうね。しかし、ここで結論を急いでは拙速かもしれないが、大量生産大量消費が資本主義ならば、もう限界だろうよ。商品としての再生産が不可能な資源と環境、労働人口が、それを商品として使い切ってしまう資本主義的商品生産の矛盾だから。動態統計学で分析した日本のサイクルを韓国がそれよりも短かい期間で終わると予測してきたし、中国もその隆盛は日本の何分の一程の期間で終わってしまい、今はもう減衰期に入ったとみている。

しかし、資本主義が求めて作った 国家 の枠を、今資本主義が消し去ろうとしていると言える。世界は不純要素を取り除き、資本主義モデルに近付いて、均質化して、国境はなくなったも同然になるが、国家エゴはなくなるから 国家 の枠は権力としてまだ長く残って行く。国家の枠の破壊の前に、大国は民族とか宗教によって分裂し、それによって成立した小国家も資本によって均質化され、民族、宗教を忘れてしまう。

じゃあ、まだ当分続きますね。

続くと言えるし、枠の破壊は半分終わったとも言える。

先生は、隠れマルキストで、隠れアナキストなんですよ、きっと。

いや、動態統計学者だ。ラベルを貼って安心しちゃいけない。人はラベルを貼って決め付け、解った気になるが、そうは行かない。また言われた方もその気になるから可笑しい。そこで思考が停止してしまう。世界はそんなもんじゃない。

だから動態ですか。

そうだ。

教授と別れた後、ホテルの地下駐車場で車に乗る。私はやはりポルシェの、軽い金属音が混じったドアの閉まる音が好きだった。シートに座るとそれだけで体がホールドされ、エンジンの振動も音も必要な範囲しか聞こえてこない。静に走っている限り、目立とうとはしない車だった。

走りながら考えていた。思い出したことがあったからだ。父の故郷で、終戦間際脱走兵騒ぎがあった。子供が死にそうだという手紙を受け取った男が、子供の顔を一目みたいと思い、外地へやられる前に逃げ出した。村に沢山の憲兵と警察がやってきて、男の家を囲み、村人も狩り出されて山狩りをした。男はやはり村に帰っていた。そして、子供の顔を見ることなく隊へ連れ戻され、軍法会議にかけられた。そして銃殺と決まったが、刑が執行される寸前に終戦となり、彼は帰ってきた。しかし子供は死んでいた。

終戦になったことで、彼は面と向かって 非国民 と罵られることはなかった。だが或る時、隅の方で目立たぬように座っていた男に、息子が戦死した女が、なんでお前は死ななんだ、逃げたもんが徳か、お前も死ねばよかったんだ、と食ってかかった。男は身を縮め、帰ろうとした。女がその背に物を投げた。男は、俺だって息子に死なれたんだ、と女に言い返した。そうだ、お前の代わりに、お前の子供が死んだんだ。女はそう言った。

もう男の家と縁を結ぼうとする家はなかった。男は妻と、縁談の来ない娘を連れて村を出た。

友人の息子の結婚式にでたことがあった。彼は巡査部長だった。色々な祝辞の後、同僚達が彼を式場の真ん中に連れ出し、肩を組んで機動隊の隊歌を歌いだした。国を守り市民を守る、これが我らが機動隊、といった内容だった。

他日、警察庁のキャリア組の男の結婚式にも出席させられた。内閣官房長官、かみそり**といわれた警察官僚出身の政治家からの祝電が読み上げられた。更に婿側の出身地の市長、市議会議長、衆議院議員からの祝電、花嫁側の銀行頭取、お茶の家元、私立女子大学長などの祝電も読まれた。祝辞も、婿の前途洋洋たることを褒め称える内容ばかりで、花嫁側のほうは、こんなすばらしい男性を掴まえてうらやましいと言ひ募った。国を守るも市民を守るもなかった。

私は……。車を静かに走らせながら、思った。私は愛国者じゃないから。

命はひとつ 人生は一回

だから 命を捨てないようにネ

あわてると つい フラフラと
お国のためなどと言われるとネ

青くなって しりごみなさい
逃げなさい 隠れなさい

お国は 俺たち死んだとて
ずっと後まで 残りますヨネ
失礼しましたで 終わるだけ
命のスペアは ありませんよ

青くなって しりごみなさい
逃げなさい 隠れなさい

こんな歌を確か、聴いた覚えがある。神様と言われるよりはとかの二番があったとも
思う。

その人を事の善悪ではかるのは、次元が違うと思う。しかし彼は一国の総理を務めながらも、刑事被告人となった。それが今の時代で彼の占める地位だ。だが彼が米国の何かに触れて、失脚させられたと我々は思っている。エネルギー政策で米国からの自立を図ったから、米国の動きを察知して、一步先に日中国交回復を行ったから、日米枢軸関係から離れ、日米中均等外交へ軸を移そうとしたから、と今は色々な解釈が出ている。大体あんな露骨な手口では、そう簡単に騙されはしない。

事の発端は、その頃まだ駆け出しの評論家が表に出て言う資料を丹念に読み込み、突き合せて、そこから今太閤の実像を暴いたと言う事からだった。確かに今太閤は 数が力、力は金 を信条にした金権政治家であったかもしれない。しかし、この政治家の逮捕された事件には他にも、 日本列島は浮沈空母 と米国に媚を売った政治家と、某大新聞の主筆が大きく関わっていた。そのことは巧妙に隠され、今太閤のみが東京特捜部に逮捕され、先の二人は逃げ切ったことはあまり知られていないのは何故だ。そこに総合的な演出を見る思いがする。その振付師がユダヤ系の国際政治学者だったことも知られている。

私もこの演出の中で踊っているのだろう。

こうして一人の天才政治家が葬り去られた。だが、*民党は彼の引いた路線をつい先ごろまで走り続けることで、政権を維持することができた。土建屋と官僚と、金権と権力に執着する政治家の国家がこれだ。そして政権交代が起こりそうとみるや、東京地検特捜部は二つの事件をでっち上げた。私への支持はその内の一つに関わった豪腕政治家を葬ることだった。しかし、これは私など関わらなくとも東京地検特捜部が巧みにやってのけるだろうと思った。裁判技術では有罪に出来なくとも、検察審査会を使って兎に角裁判に持ち込む。そしてこの先何年か、彼を刑事被告人にしておく。これだけで彼は力を失ってゆく。この、もっとも泥臭い政治家だった今太閤の後継者は、塀の上をふらふらと何時までも歩かされる。彼の神経はそれに何時まで耐えられるだろうか。私は仕掛けた。彼の 本妻 さんに手記のようなものを書かせた。私は豪腕政治家の息子の耳元で、今だ と囁いた。それだけだった。父を憎む息子は、母に手記ではなく、書簡を書かせた。あまり劇的に有効な手段ではないかもしれないが、彼の実像が人々の脳裏に浸透して行くのが見えた。

私はマンションを替わらなかった。そのマンションに私を監視するシステムが設置されていることを承知で、そこに住み続けていた。監視カメラや盗聴器を捜したりもし

なかった。彼ら からの何かしらの指示が或る時は、私がマンションに帰ると、淹れ立てのコーヒーが用意されていた。それを見て私は教授に連絡を取る。そして指示を受ける。その内容はいつも一言だった。**を失脚させてくれ。ほかに、手段も期限も指示はない。

だが或る時から、ターゲットの傾向が明らかに変わった。それは、彼ら が代わったのだろうか。私にはそう思えた。そして、私の身の回りに 何かしらの影が付きまとい、視線を送ってくるように感じ始めた。それは、私が 彼ら の意に沿わぬ考えを抱くようになったこともあるのかもしれない。その思いのキーワードは

フクシマ

日本は三度目の被爆をさせられた。この地球上の一番忌まわしく、汚らしいもので汚染された。それは、この先何万年も存在し続け、日本人を蝕み続ける。アメリカからこれを嬉々として受け入れ、その正体を国民の目から隠し続けた人間がいる。第一原発の一号機二号機はアメリカGE社のものだ。これは世界中で一番脆弱で危険な原子炉と言われており、アメリカでは改修に改修を重ねたがどうにもならず、ついには停止させて廃炉にする計画になっている代物だ。そのGE社が設定した炉の耐用年数は30年、福島ではそれをさらに十年越えて使っていた。越えて使いたいといったのは *京電力、使っていていいといったのは経産省。

危険を承知で使っていたのか、あいつらは・・・。
不用意だった。私は独り言を言ってしまったらしい。

何故彼を陥れるんですか。

私は教授に訊いた。なにを今更、とおもったからだ。彼が権力の頂点にいたのは、政権交代後の幹事長だった時で、後は凋落の一途だったはずだ。その後の検察審査会での強制起訴は彼の復活を不可能にした。

今太閤の愛弟子だからだろう？

それだけの理由ですか。

・・・。

教授は黙ったまま頷いた。

ユダヤ難民の国際政治博士は今太閤に、何で補佐官ごとき格下に俺があわなきゃならないんだ、と言われて初回会談を断われた。次は大統領親書をもって会談を要請されたので、しぶしぶ会った。なんの学歴もない、ただ動物的勘と金の力で首相になったような分際が、あの権力至上のエリートには気に食わなかった、それだけで蹴落とされた、それが真相らしい。国際政治など、こんなもんだ。浮沈艦総理には今太閤より多額のピーナツが渡り、おかげで総理の座が回ってきたというのに。そんな闇を知っているから、豪腕も潰される。それだけじゃなくて、彼は従順じゃないからだろう。

・・・？

顔を上げて教授を見ると、

彼ら とアメリカ政府にね。

と言葉を継いだ。そういえば、うそつき首相も、なんとかアジア圏経済構想というものをぶち上げ、アメリカ抜きのアジア経済圏を確立しようとしていた。彼が失脚させられた真の理由はここにあったのかもしてない。もっとも彼自身の人格的資質も災いしたと思えるが。そして、今オスプレイをゴリ押しに沖縄に持ち込もうとしているのも、何かの思惑があるとしか思えない。

彼ら が代ったのか。

もう一度思い返してみた。

帰ろうと、車のドアノブに手をかける。キーレスエントリーだから、ドアは開く。しかし、先ず軽く引いて、上縁にくいこんだサッシュレスのウィンドウが自動で少し下がるのを待ち、ノブを引いてドアを開ける。そうしないとポルシェはガラスが引っかかり、ドアが歪むかもしれないのだ。ドアは軽い。少し強くあけると大きく開きすぎて、隣の車にぶつけてしまう。ドアを閉めるとガラスはまたあがり、ドアはしっかりと固定される。気難しい車だ。昔のポルシェは、エンジンをかけることさえ難しかったよ

うだ。まして発進させるのは、じゃじゃ馬を操るほどに神経を使わされたらしい。今は教授に 高価なゴキブリ と笑われる。彼はタフなBMWで帰っていった。

信長の比叡山焼き討ち、一向宗の皆殺し、秀吉の刀狩、家康のキリシタン弾圧で、日本から宗教的要因は除かれた。だから、トウキョウモデルでは勤勉資本主義に、ヨーロッパの宗教改革は解析要素として考慮しなくていい。日本人の勤勉さと礼節が殆ど純粋な資本主義モデルを完成させた。だが現代でまだ宗教が支配的であると、貧困に宗教が絡んで惨劇を生む。中東のテロと、赤いクメールの惨殺だ。ここではプロレタリア独裁も宗教的信条になった。この厄介な要素は・・・。

教授の講義口調を思い返していた。

資本主義が限界を迎えようとしているとき、人々は国家を越え、宗教対立を越え、共同体社会主義に向かわなければ救いはない。

コミュニティ社会主義、ですか。

今の、大マスコミを動員した国家総動員法のごとき世論作りは破綻する。いや、もう破綻している。誰も政府とマスコミを信じていない。しかし、その多くはヒステリックな感情的反発だけで反応している人たちだが、今までの従順な日本人にはなかった、自立した市民も見られる。かつての全共闘時代の学生のような激しい自己主張ではなく、自分の言と判断によってもたらされる事態に責任を負うことをためらわない市民が存在している。事態は 過飽和 の状態になっているよ。後は塩粒一個投げ込むだけだ。たぶん一度に結晶化する。

私は関西の 闇市 から人を介して携帯を買った。そして

金曜日の午後5時に、原発反対のデモを首相官邸の前でデモを行います。

とだけ つぶやき、その場で携帯を破棄した。もちろん首相官邸にデモを見に行ったりはしない。教授はああいったが、私はジャスミン革命もアラブの春も日本では起きないと思っていた。確かにネットは大きな可能性を秘めている。しかし、ネットはコミュニケーションの一手段でしかなく、一発の銃弾も現実には発射できない。何かを発信しても、受け取る人がいなければただの戯言に終わってしまう。ましてや、ネットはその電腦空間に、積極的に情報を求める人がいなければ、伝わることもない。本当に 過飽和 なのだろうか。そう思いながら、その後私は つぶやきサイトも見なかった。

社長、変なことになってますよ。

サイト巡回の画面を見ながら、社員から声をかけられた。画面に五十人ほどの一般市民が集まって、というより、立ち止まって首相官邸を見詰めていた。その投稿動画に、原発反対 のコメントが流れた。それだけだった。実際に集まった人たちがシュプレヒコールを挙げたわけではない。そして、その立ち止まった人たちの横を普通の人たちが流

れて行き、振り返りもしない。その投稿動画の再生回数も、三桁でしかなかった。

資本のグローバル化とは便利な言い方だが、資本が国境を越えることで、人々も国境を越える。国境の希薄化と、民族、人種の希薄化、伝統文化の崩壊は少し時間を置いて起こる。そして、どれほどの時間を過ごせばいいのか解らないが、資本がどこの国に属しているのかも意識されなくなり、国家も意識されなくなる。そして資本の再生産だけが至上命題になる。なんて面白みのない時代がくることか。

だからその救いが ユートピア便り ですか。ウィリアム・モリスはマルクスの後継者だった。

たぶん、そんなことにはならないだろうよ。資本主義は人間の欲望が生み出した、最も効率のよい経済体制だから。そこに精神性は邪魔なだけだ。トウキョウモデルはそんな不純物要素を一番取り除いた形で、一番効率のいい資本主義モデルだ。このモデルには 市民 はいない。市民というと、古臭い右翼人は、それは左翼の人間がよく使う言葉だと言い出す。彼ら右翼の人間には、自覚を持ち、自立して考える人間は要らないものだからだ。 国民 は賢者の決めたことに従順に従い、労働し、また労働力としての人口をも再生産すればいいとする人たちの言だ。一番商品に馴染まない人間に、商品たれとする非人間的思想だ。

教授、やっぱりあんたは マルクス主義者だ。そんな話を思い出しながら、その動画を見ていた。

市民の反乱が始まった。そう思った。そして、これが私の反乱でもあった。

共同体社会主義は、日本に一番可能性がある。ブータンだのチベットだのという人もいるが、資本主義が極限まで発展して後に、その体制となる必要がある。そうしないと、その体制は遅れた資本主義に引きもどされる。日本の原風景は共同体社会主義などと銘打たなくとも、充分その通りだけでね。

原発はどうでしょうか。原発はその国の将来についての試金石になると思っているのですが。

私は原発の隠された闇を思っていた。 フクシマ であばかれ、さらけ出された闇がまだ闇のままであったときは、とてつもなく大きなものに思えた。学生時代、原発の建物の横を通ったことがあった。私はその時、完全に閉ざされ拒絶するもの の、鉛のような重さに、つい目をそむけてしまった。だが、背中にいつものしかかられていた。

フクシマ はそれを我々に突きつけている。そういつて、教授は黙ってしまった。

マンションに帰り、自分で入れたコーヒーを飲み、久しぶりに夜景を見ていた。固定電話が鳴った。

逃げろ！

受話器を持ち上げた途端、教授の声が叫んだ。私は一瞬で事態を呑み込んだ。盗聴器の付いていない固定電話は、一応セキュリティは守られている。しかし、それでも監視されているであろう私に、教授はなりふり構わず 逃げろ と叫んだ。私は身に付けているもの全部を外した。GPS発信機が私の体に埋め込まれていないことは確かである。

。

私は言い知れぬ不気味さを感じた。誰が原子力基本法に 国の安全保障に資するの文言を入れさせたのか。*主党の現政権の閣僚が、*民党の要求で入れたと証言した。参議院の数の優位を勝ち誇り、自分自身では出来ないことを現政権の陰に隠れ、国民の目をあざむいてこんな文言を入れさせる。思いもよらぬやり口だった。そのうえ、現政権に 集団的自衛権まで踏み込まそうとしている。現政権に味方するのではない。崩壊する政権をここまで利用する 彼ら のやり口に私は反乱を起こした。豪腕を貶め、脱党させるのもこの目的だったからだ。私は塩一粒をまいた。

だが、私は失敗していた。私は 彼ら のエージェントに初めて接触した際 原発 の一言をもらしていた。それゆえ用心に用心を重ねはしたが、こんなことがあろうかと想定はしていた。私は用意していた現金と例のプラチナカード、ルームキー、車のキーの他は何も持たなかった。部屋を出、エレベーターに乗る。地下の駐車場に降りて、車のドアノブを引いた。ドアは開かなかった。マンションの中に戻ろうと、ルームキーをキー開錠装置のカードリーダーにスライドさせたが、開かなかった。私はプラチナカードを他の車のボンネットの隙間に差し込むと、走った。たぶん私の社会的存在を証明するものは、すべて抹消されているだろう。公的保険も住民票も、戸籍、運転免許、会社の存在すら消されているはずだ。係累は誰もいないことも 彼ら は知っていた。あとは私を消し去るだけだ。

地下駐車場を抜けるまでが一番危険だと思っていた。だがそれも抜けられた。街の人混みに紛れ、私は建物側を急いだ。そして古いアパートの郵便受けに、祈るような気持ちで手を突っ込んだ。あらかじめ用意しておいた車のキーを掴んだ。何ヶ月これを放置しておいたか。壊れかけの郵便受けにテープで這いつけておいた車のキーだから、なくなっても仕方ないと思っていた。私はキーを持って、貸し駐車場に向かった。そこに車があるはずだが、これも他人に預けさせた。管理人にキーを渡し、車を出してもらう。管理人が車を出庫する駐車場だから、ここを選んだ。そんな派手なことはしないだろうが、この車の事も知っていて、爆発物を仕掛けていないとも限らない。私は何泊分かの料金を精算し、ちょっとためらったが車に乗った。そして何分か走り、車の中を見た。まだ脱出できたわけではないことは解っていた。なにか仕掛けてくるはずだ。そう思いながら、次の仕掛けに向かった。脱出には、人混みは危険だ。地下鉄などの交通手段はもっと危ない。車さえ安全なら、箱に包まれている方が安全なのだ。私は次の駐車場に車を止め、違う駐車場まで急いで歩き、乗り換えた。これも無関係な他人に預けさせた。そんな幼稚なことに騙されはしないだろうが、マンションの車に挟み付けた力

ードは、車の持ち主がそれとは知らぬまま車を動かして、どこかを移動しているはずだ。私は車に用意してあった衣類その他を身につけ、遠く迂回して目的地に向かった。しかし、そんな私の動きが一人芝居のようになんの危機的なことがない。ひょっとすると・・・、と思った。彼らは私の別な顔に気付いていたのだろうか。それもありうるかもしれない。

あっ、所長、どうかしたんですか。

オスプレイの件で、*国はどんな動きを見せているか気になってね。

いやあ、例の沖縄*報の動きを見れば解りますよ。相当嫌がっているんでしょうね。欠陥機だと騒ぎ立てて、岩国搬入阻止のキャンペーンに必死ですから。しかし・・・、どうなんでしょうね、ありゃ本当に欠陥機かもしれませんね。

だからと言って、機体の搬入は安保条約の事前協議の対象じゃないから止めてくれとはいえないしね。あれには米軍中枢も頭をかかえているらしい。とんでもない開発費をつぎ込んで、出来たのは欠陥品でしたとはいえないからね。軍って奴はいつもそうだと。ところで、*同通信社はどうなんだ。

テレビの番組を持ってる政治評論家に、政治は理性で考え、何を選択するかを決断し、実行することだと言わせてます。

そうだな、選択し、決断し、実行する、そして危機を事前に察知し、予測し、前もって用意をする危機管理が国の役割だ。

彼らが私の何を消しても変わる事はない。内閣情報調査室国際部門委託団体、国際情報危機管理研究室室長、これが次の私だ。